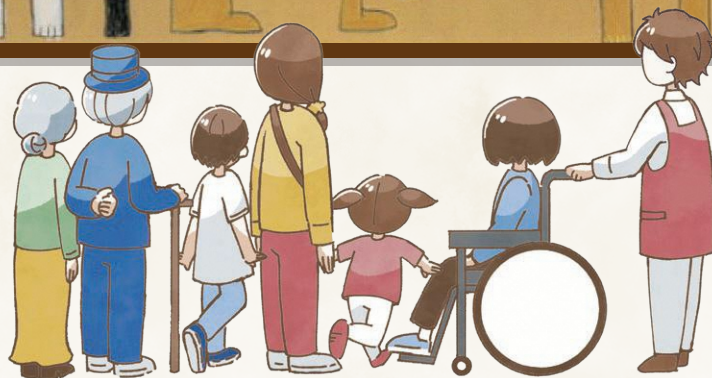


わかりやすい版

前橋はーとふるプラン

だい
第4次

まえ ばし し しょう がい しゃ
前橋市障害者
ふく し けい かく
福祉計画



れい わ ねん がつ
令和8年3月

前橋市

計画について

① 計画をつくれた理由

前橋市では、これまで、障がいのある人が安心して暮らせるように、計画をつくり、取り組みを進めてきました。

社会のようすは、少しずつ変わっています。

子どもが少なくなり、お年寄りの人が増えています。

また、障がいのある人も、地域の中で、いっしょに暮らしていくことが大切だと考えられるようになりました。

障がいのある人が、自分でえらび、自分らしく暮らしたい、そうした思いも、大切にされるようになっていきます。

そのため、必要な手助けは、人によってちがいます。今までのやり方だけでは、うまくいかないことも出てきました。

そこで、この計画を新しくつくりました。

令和8年度からの取り組みの目安になる計画です。

この計画は、みんながつながり、支え合い、えがおで暮らせるまちを目指すものです。

障がいのある人が、住みなれた地域で、安心して暮らし、まちの中で、むりなく関わっていきけるようにします。

この計画は、専門の人だけでなく、障がいのある人や、市民のみなさんの声を聞いて、つくりました。

話し合いをしたり、アンケートを行ったりして、いろいろな意見を取り入れています。

これからは、この計画を大切にしながら、一人ひとりの「こう生きたい」という気持ちによりそって、取り組みを進めていきます。

表紙の絵：障害福祉サービス事業所に通う方の作品になります。

作品名：「アニマル」

事業所名：麦わら屋

②これから7年間の計画です

この計画は、令和8年度から令和14年度までの、7年間の計画です。

社会のようすや、国の考え方が変わったときは、今の計画でよいか、もう一度考えます。

令和15年度から先は、障がいのある人や、障がいのあるこどものためのほかの計画と、いっしょに考えていきます。

どれくらいの手助けが必要か、何をどこまで行うかを定める計画と、まとめて作っていきます。

計画をどうやって進めるか

①この計画を、だれが、どうやって進めるか

この計画では、市の「障害福祉課」が行う取り組みが多くあります。

そのため、計画が始まったあとも、毎年、「きちんとできているか」「うまくいっているか」

を市の「障害福祉課」が行う取り組みを中心に確認します。

確認した結果をもとに、足りないところは直し、よりよくなるように考えながら、計画を進めていきます。

また、計画が始まって4年目の、令和11年度には、市全体で、これまで3年間の取り組みを振り返ります。そして、どこまでできたかをまとめます。

取り組みのようすを確認するときは、市だけで行うではありません。

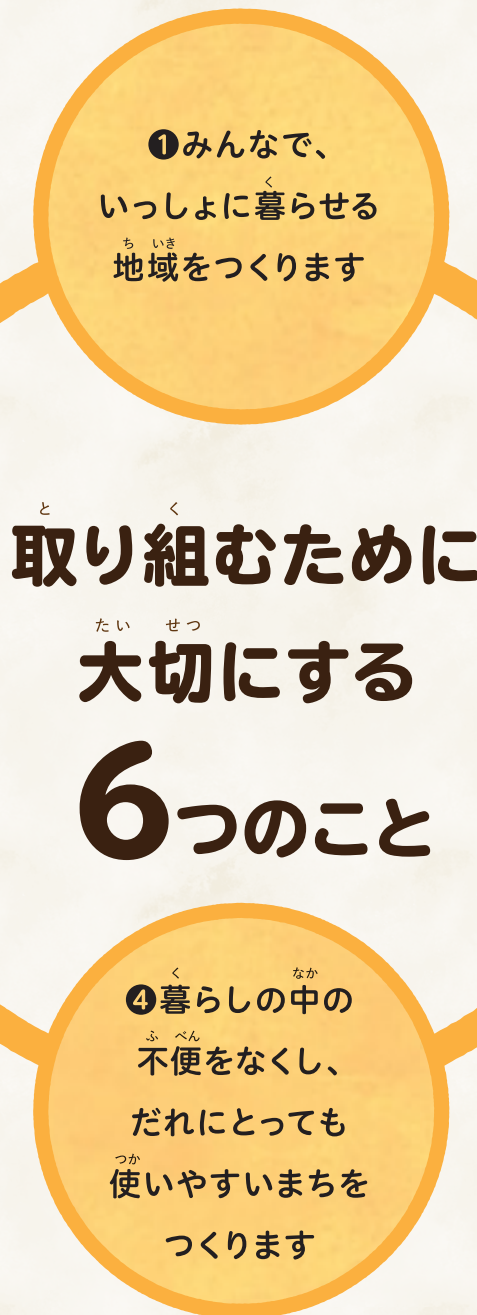
相談を行う事業所や、福祉サービスの事業所、病院や学校など、関係する人たちといっしょに考えます。

また、障がいのある人の団体の声も聞きながら、地域のようすや、困っていることを知るようになります。



この計画で、いちばん大切にすること

地域で自分らしく暮らしたいという 一人ひとりの思いを大切に



⑥ 困ったときに、
使えるサービスを整え、
サービスの情報を
分かりやすく
伝えます

① みんなで、
いっしょに暮らせる
地域をつくります

② 障がいのある人が、
自分で考え、自分らしく
生きることを
大切にします

取り組むために
大切にすること
6つのこと

⑤ 障がいがおも
重くなったときや、
年をとったときも、
安心して暮らせる
ように支えます

④ 暮らしの中の
不便をなくし、
だれにとっても
使いやすいまちを
つくります

③ 思いこみや
差別をなくし、
障がいのある人の
大切な権利を
守ります

【第4次前橋市障害者福祉計画の6ページをご覧ください】



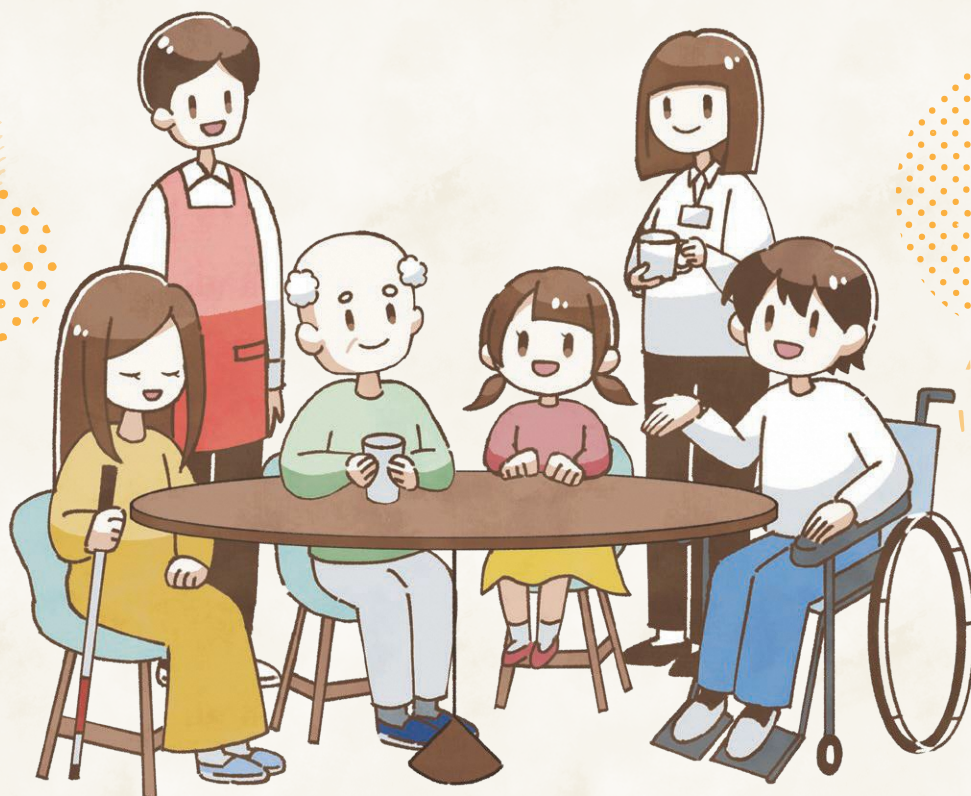
これからの目標と、進めていく方向

この計画では、「地域で、自分らしく暮らしたい」という一人ひとりの思いを大切にします。そのために、これから目指すこととして、7つの目標を決めました。

目標 1

差別をなくし、みんなが大切にされる社会にします

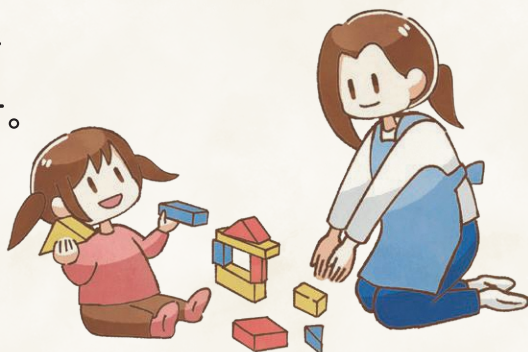
- 障がいがあるかどうかに関わらず、だれもが大切にされ、同じように暮らせる社会を目指します。
- 障がいを理由にした、いやなあつかいや、差別をなくします。
- また、困ったときに守ってもらえるしきみを整え、安心して暮らせるようにします。



目標 2

こどもが、小さいころから安心して学び、育っていけるようにします

- 障がいのあるこどもが、その子らしさや、できることを大切にしながら、のびのびと育っていけるようにします。
- こどもが小さいころから、心配なことや困りごとに気づき、早めに手助けをします。
- その子に合った支え方や学び方を考え、一人ひとりに合った支援を行います。
- 学校や先生、家族がいっしょに話し合い、安心して学べる場を整えます。
- また、障がいが有る無しにかかわらず、いろいろな人といっしょに生活する良さを感じられるようにします。



目標 3

からだと心の健康を大切にします

- すべての人が、元気に、自分らしく生活できるようにします。
- 障がいのある人が、病気になりにくいように、ふだんの生活の中での健康づくりを進めます。
- また、地域で安心して、病院や保健のサービスを使えるようにします。
- 困ったときに、必要な医療や保健の手助けが、きちんと受けられるよう、支えるしくみを整えます。



目標 4

必要な手助けと、安心して住める場所を大切にします

- 障がいのある人が、住みなれた地域で、安心して暮らせるようにします。
- そのために、必要な手助けやサービスを、使いやすく整えます。
- また、生活に必要な住まいが、きちんと見つかるようにします。
- 一人ひとりのちがいに合わせて、さまざまな手助けを用意し、自分らしく、地域で安定して暮らせるよう支えます。



目標 5

自分に合った働き方を、えらべるようにします

- 障がいのある人が、できることや、得意なことに合わせて、働けるようにします。
- そのために、仕事を見つける手助けや、働き続けるための手助けを行います。
- また、会社や事業所にも協力してもらい、いろいろな働き方ができる職場を増やしていきます。



目標 6

ち いき なか たの さん か ば ひろ
地域の中で、楽しく参加できる場を広げます

- 障がいのある人が、音楽や絵、スポーツ、遊びなどを通して、楽しく、ゆたかな生活ができるようにします。
- また、障がいのある人も、ない人も、いっしょに楽しめる機会を増やします。
- 出かけやすくなるように、移動の手助けや、交通のしくみを整え、地域での活動を広げていきます。



目標 7

あん しん まい にち す かん きょう
安心して、毎日を過ごせる環境をつくります

- 障がいのある人が、毎日の生活を、安心して送れるようにします。
- そのために、道や建物、使うものを、だれにとっても使いやすくしていきます。
- また、必要な情報が、分かりやすく、手に入りやすくなるようにします。
- 地震や大雨などのときも、困らないように、助け合えるしくみを整えます。



だい じ まえ ぼし し しょうがい しゃ ふく し けい かく ぼん
第4次前橋市障害者福祉計画【わかりやすい版】

〒371-0014 前橋市朝日町三丁目36番17号

前橋市 福祉部 障害福祉課

TEL : 027-220-5713(直通) FAX : 027-223-8856

メールアドレス : syougai-fukushi@city.maebashi.gunma.jp

計画書の全文は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。▶

